



福島中だより

令和8年度
福島中学校学校通信
8月28日(金)
第5号

【重点教育目標】主体的に学び、考え、行動し、自己実現を目指す生徒の育成

受け継ぐ

福島町立福島中学校長 金子 賢

30日間の夏休みを終え、大きな事故等もなく生徒全員が無事に登校してくる姿を見てほっとしております。冷夏だと思われた7月と違い、8月は気温・湿度とも高く、寝苦しい日も多かったように感じます。

休み中には、吹奏楽部が吹奏楽コンクールに参加し、銀賞を受賞しました。拠点校野球部が全道大会に参加し、見事1勝を果たしました。そして、全道陸上に参加した村田さんも自己ベストを記録しました。また、福島町で行っている交流事業では、長野県木曽町から来た生徒と交流したり、長崎県松浦市を訪れたりした生徒もいて、それぞれがとても良い経験をしたようです。

私は13日に行われた『福島町二十歳を祝う会』に参加し、参加者の立派な姿を見たり、代表のあいさつを聞いたりしました。式の後には恩師からのビデオメッセージが披露され、小学校・中学校の先生方より当時の思い出やお祝いの言葉を聞くことができました。子供たちの成長の過程を感じることができ、当時の先生方の思いも伝わってきました。また、参加者の後ろで見守る保護者の温かいまなざしも印象的でした。時代が変わっても、子供は変わらないし、子を思う親の気持ちも変わらないし、子供を教える教師の思いも変わなく、こうしてずっと受け継がれていくのだなあと感じることができました。

これから中学校では、9月には「生徒会役員選挙」、10月には「芸術祭」など大きな行事・節目を迎えます。2年生が生徒会など学校の中心となり、芸術祭では古くからの伝統芸能の発表もあります。先輩から引き継ぐ、地域の伝統を受け継ぐなど、中学校時代にも代々脈々と受け継がれていくものがあります。子供たちには、今までの先輩の思いや、保護者・地域の方々の思いに胸を馳せ、それらの伝統を大切にしながら行事等に取り組んでほしいです。

地域、保護者の皆様におかれましては、これからも本校の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

